

陽だまり

雪の聖母園 令和6年 Vol.20



「まる笑顔」
おかげさまで、
まんまる笑顔60年



第32回雪の聖母園祭

雪の聖母園創立60年の節目を迎え、今年のスローガンは、「あんなに笑顔60年」

今までは新型コロナウイルスの影響から行動制限がなされていましたが、ようやく規制も解除され、普通の生活が戻りつつあります。今年は外部からのアクトのシヨウや出店、入場制限もなく、雪の聖母園祭が開催されました。

今年のアクトのシヨウは、昨年に続き花の里こども園の「和太鼓」や清武館の空手演舞を披露して頂き、月形中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏曲も利用者様のいうハズにもあたえ頂き、大盛り



上がりでした。ラストには北海道医療大学のもよこい演舞があり、利用者様は興奮した気持ちで冷める事なく一緒に踊っていました。

出店も企業・法人施設様にご協力頂き、カシーや焼き鳥、ポテトなど皆さん大好きなメニューに舌鼓を打ち、キッズコーナーでうしープ販売され、甘い匂いに誘われ行列を作り各店舗は大盛況でした。

抽選会では、創立60周年記念にゲストとして月形町マスコットキャラクター「ベルト君」に登場いただき、会場は大盛り上がりでした。今回施設内の

ホールに、創立60周年の思い出が詰まったメモリアルコーナーを設け、利用者様の歩まれた歴史を昔と今と比べ写真を展示しました。利用者様の家族からは、あの頃の思い出を振り返り胸が熱くなりました、何より元気で育ってくれたことに感謝していますとのお話を聞くこともできました。

ご来場された皆様出店、出演、月形町社会福祉協議会の協力によるボウリングアクトの方々、会場進行協力していただいた各団体の皆様には、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

旅行 雪の聖母園

吐息も冷たく冬の息吹を感じ季節となりました。

今年度、雪の聖母園は60周年を迎え、6年ぶりの旅行を実施する事が出来ました。

日帰り旅行は糸市と札幌の2ヶ所、1泊旅行は釧路、定山溪、釧路、函館と4ヶ所へ行く事ができました。

日帰り旅行では、札幌のプリンスホテルに

このうちハイキングを召し上がり、糸市では鯉釣りエタマイングなどにて食事を楽しめました。

1泊旅行は4行程と沢山実施する事ができました。

1回目は釧路にて伊達時代村へ行き生憎の雨となりましたが、ホテルで温泉に浸わりゆつたりと過ごしました。2回目の釧路は飛行機を利用して何かい、遊覧船に乗り景色や食事を楽しみ、阿寒湖温泉で羽を伸ばしました。3回目の定山溪では、利用者から希望もあったエスコンインナーに行くとお土産出来て、グッブの購入や会場内を見学しました。4回目最後の行程となる函館では飛行機に乗り、有名なグッブキーボードで食事をして金森倉庫を探索しました。

今回の旅行は、利用者の高齢化も踏まえ全体的にゆつたいとした内容となりましたが、ご家族の方もおたくさん参加され、利用者の方々も久しぶりの旅行の雰囲気にも気分も高まり楽しんでいただくと感じました。

次年度もまた利用者の笑顔が溢れ、いつしかここまでの旅行になればと思います。

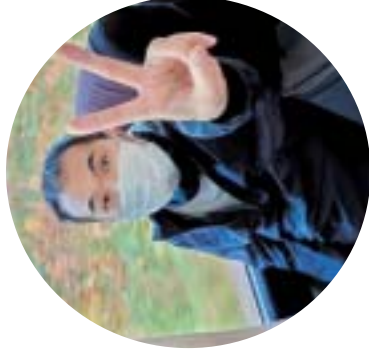


旅

行

このネットゆづりでは、日帰り干蔵旅行、1泊札幌旅行、2泊函館旅行の3行程に分け旅行行事を企画実施しました。各旅行では、ゴール工場の見学、白い恋人パーク、函館山ロープウェイなどを見学散策、それぞれ特色ある内容を組みこむことができました。お楽しみいただけたのではないかと思います。

宴会場は勿論のこと、移動の車内でもあちこちで楽しい話が聞こえ大変楽しい旅行となりました。



ライフネットゆづり



Merry
Christmas



Happy
New Year



ように。

か、お天気になっ
て、来てくれます
ので、今年は、どう

で届けてくれる特別な切手を出してきて
くれました。昨年のクリスマス会は、ひと
い吹雪で、サンタさんが来られなかった

便局に行くと、サンタさんま
お手紙を書きました。月形郵

年長さんは、サンタさんへの
お手紙を書きました。月形郵

お話では、クリスマスの意味を
知りました。クリスマスは、み
んなを幸せにしてくれるイエ
ス様の誕生を世界中の人が毎
年お祝いしています。

のお集まりでは、クリスマス担
当の先生から、クリスマスにま
つわるお話を聞きながら、わ
くわくした気持ちで、クリスマ
スを待つています。1回目の

行われるアドベントクラウン
のためアドベント(待降節)も始まり、子
どもたちは、毎日アドベントカレンダーを
めくることを楽しみにしています。毎週



わくわく
たのしみ
クリスマス

12月を迎え、今
年も一年の締めく
りの時となりました。
クリスマスを迎える

花の里こども園

保育 発表会



こども園の大き
な行事の一つ、保
育発表会が行われ
ました。

たくさんのお客

様の前の発表は、ドキドキして緊張も
するけれど、大好きなお父さんお母さん
たちに見てもらえるのは、楽しみなの
で、子どもたちなりに一生懸命取り組ん
でいました。

プログラムの内容は、それぞれクラス
の先生たちが、子どもたちの姿を見て考
えてきました。毎日楽しんでることを

発表の形に整えたり、こんなお話を劇で
表現できるかなと挑戦したり、準備をし
てきました。準備をする中で、与えられ
た役の表現を考えたり、セリフや出番を
覚えたり、まだ、小さな子どもたちなの
に一人ひとり考えて行動している姿に
感動しました。きつと当日の発表を見た
お客様も保護者の皆

様も子どもたちの姿
に心から大きな拍手
をくださったのだと
思います。

また一つ大きく成
長した姿をお見せす
ることができました。



今年も一年大きな
事故もなく、みんな
元気に過ごすことが
でき、感謝しており
ます。
多くの皆様にも大
変お世話になりました。
良いクリスマスと
お正月をお迎えくだ
さい。

毎日の『生活とあそび』を大切に・・・

暑い夏が過ぎ、寒い季節がやってきました。

園庭の木々の葉も落ち、湖のもつになつていきます。

子ども達は、ベッパンホルムで作った【お宝カッパ】を持ち、まごころくいや落ち葉を集め、嬉しそうにそして大切に持ち、保育士に届けていました。

自然に触れられる園庭は何もの宝物です。大切にしていきたいですね。

そして、自然からの贈り物の坑鼠と言えば積木です。積んだり倒したり、並べたり、大きくなるし動物園等、色々な想像をしながら作っています。ここに遊びにも発展する、満足できる子ども達の大切な遊びの一つです。

今年度、新ひだか町から『木のぬくもりを子ども達へ』と積木をいただきました。

新ひだか町の【かたのき】という木を使っているところもとても良いですね。かたのき積

木を使い、遊びが楽しくなつていく事を楽しんでいます。



積木



わらべうた



わらべうた

唄のある生活はいいですね。遊びの中やおむつ替えの時、お昼寝の時など保育士が口ずかします。わらべうたは日々大切に守り伝えられ、大きくなつてねお利口さんになつてねと心を込めて教えてくれる、人育ての唄と言われています。

うたに遊びに行くと、私の前にちもちゃんと座り、以前行つたわらべうたを見つめて見かねて行い、唄って欲しいと訴えます。感動でいっぱいになり、何度も行いました。わらべうたを通して、優しく大きく、そして豊かな心育てて欲しいと願います。

落ち葉あそび

もちつき

もちつきを行いました。朝から準備をして、時分から開始します。

「今年もおいしくつぎました。来年中もつくって欲しいです。」という気持ちを含め、一生懸命お餅をついているし、たんぼ組のお友達が遊びに来ても手伝いをしてくれました。なんと頼まじい姿でも。

子ども達の成長に驚くと同時に、感動しました。

もちつき





寄付 寄贈 (順不同)

- ・雪の聖母園 家族会
 ・伊達リカルメル会 修道院
 ・カトリック田山教会
 ・札幌光星高等学校
 ・月形町赤十字奉仕団
 ・月形町更生保護女性会
 ・(株)ほくそ給食
 ・高田書店
 ・(有)札幌第一
 ・(有)札幌こどもとお社
 ・(有)札幌北千住ヤイルト社
 ・(株)シヤクエツ札幌店
 ・(株)フーベル館
 ・北海道五社
 ・山崎齒科
 ・出口小児科医院
 ・月形アイオンエフ
 ・花の里こども園
 ・卒園児保護者御一同
 ・月形道コカ・便局
 ・北海道コカ・ポートリング
 ・J A 夕張市農協青年部
 ・あけぼの会(父母の会)
 ・新ひばり町
 ・城みすみず
 ・相田幸雄
 ・(福)月形町
 ・社会福祉協議会
 ・(福)月形福祉会
 ・(福)空知風
 ・(福)滝沼ほえみ会
 ・(福)岩見沢清丘会
 ・(福)南郷苑
 ・(福)ワビトニア
 ・(福)北海道社会福祉社
 ・事業団福祉村
 ・(有)香西電気商会
 ・中和一町内会
 ・(有)青柳自動車
 ・笠原管設工業株式会社
 ・豊原一夫
 ・五十嵐吉美
 ・(福)札幌報恩会
 ・札幌新星リョウブ
 ・双葉中学校・高等学校
 ・速辺徹
 ・大谷真実
 ・(一財)北海道信用金庫
 ・ひまわり財団
 多大なるご支援
 ありがとうございました。



雪の聖母園HP

花の里Instagram

静内facebook

本部facebook

ゆう(ぱ)facebook

記後集編

寒い日が続き、本格的な冬が到来してきております。これから除雪の日々が始まると考えると、仕事の手につかないくらい憂鬱になっています。

冬は道路が凍ることもあれば大雪で吹き溜まりも出来やすく、運転にも気を付けなければならないといった、悪いところを見るのではなく、お鍋と熱鬧が美味しく感じる季節であるといった、良いところを探して乗り切ろうと思います。

今年も年賀状のやり取りがたいへん盛んで、
新年あけましておめでとうの挨拶を
送るに当たり、いろいろとお願いしたいところ
がある。まず、

發行

〒061-0500 北海道樺戸郡目形町字緑町149番地1

社会福祉法人 雪の聖母園

TEL (0126) 38-5270 FAX (0126) 38-5271